

※このシートは入力用です。このシートに入力した内容が、各シートに反映されます。※
↓下にスクロールしてください！↓

- ①「弁護士名簿登録請求書」
- ②「履歴書」
- ③「誓約書」
- ④(希望者)身分証明書発行申請書

各シートをA4用紙にプリントアウトし、
押印(金書類、印鑑を統一のこと)しうえ、
入会を希望する弁護士会へ提出してください。

入力にあたっては、別紙「**弁護士名簿登録請求書等記入要領**」をよく読み、漏りのないように入力してください。
各書類に押す印鑑は統一してください。
書類に不備があり、期限までに補正が完了しない場合、希望の日付で登録できないことがあります。

【よくあるお問い合わせ】

- 印刷すると1枚に収まらない。
→ページレイアウトから余白や改ページを調整し、1枚に収まるようにしてください。
→どうしても2枚に分かれてしまう場合は、弁護士名簿登録請求書等を使用した印鑑と同一の印鑑で契を押してください。契印の押し方は、弁護士名簿登録請求書等記入要領を参照してください。
- 印刷後に誤記を見つけたので、修正したい。

【よくある補正・確認事項】例年多い補正です。今一度、御自身が該当していないか確認してください。

- ・印鑑がスタンプ式(シャチハタ等)、シールタイプのものである。
 - ・履歴書の学歴に誤字脱字がある。
例「法学学部卒業」(“学”重複)、「法学部」(“卒業”抜け)。
「●●大学大学院法務研究科修了」(正式名称で書いた場合の“〇〇専攻”抜け)。
「●●大学大学院法務研究科」(“修了”抜け)
 - ・氏名に外字があり、身分証明書の発行を希望しているが、正字・外字の発行希望が不明(特に希望がない場合は正字で発行します。)
 - ・同事務所の他会員の多数が電話・FAXを登録しているが、登録請求書に記入がない、又は異なる番号を記入している(電話・FAXの登録は任意ですが、上記の場合は、登録する・しないの意向確認を行うことがあります。)
- ***別シートの「提出前チェック」も行ってください!***

↓カタカナは全角、数字・アルファベット・「-」(ハイフン)は半角で入力してください。

入会希望弁護士会 (プルダウンから選択)	東京		
ふりがな(ひらがな)	氏	にちべん	名 れん
氏名(漢字)	日	弁	連
生年月日(例:1980/1/1)	1989/1/1		
性別(男性=1・女性=2)	1		
本籍 ※外国籍者は国籍	東京都千代田区霞が関一丁目1番3号		
事務所 他の弁護士と事務所を共にする場合は、事務所名称・ビル名等表記を統一してください。	郵便番号(ハイフンなし)	〒1000013	
	都道府県	東京都	
	市区町村(丁目・番地は「-」)	千代田区霞が関1-1-3	
	マンションビル名・企業名(ある方のみ)	弁護士会館15階	
	法律事務所名 ※企業名等不可	日弁法律事務所	
	電話(空欄可) ※携帯等電話不可	03 (3580) 9841	
	FAX(空欄可)	03 (3580) 2866	
住所 登録日現在の住所を記入(未定の場合は実家等を入力)。	郵便番号(ハイフンなし)	〒1000013	
	都道府県	東京都	
	市区町村	千代田区霞が関1-1-3	
	マンションビル名(ある方のみ)	弁護士会館16階	
	電話(空欄可) ※携帯等電話不可	03 (3580) 9812	
	FAX(空欄可)	03 (3580) 9841	
学歴 入学の記載は不要。	学歴1(大学)	〇〇大学 法学部 法学科	卒業
	卒業等年月日(例:2000/3/31)	2009/3/31	
	学歴2(法科大学院)	△△大学 法科大学院	修了
	卒業等年月日(例:2000/3/31)	2013/3/31	
	学歴3(法科大学院等以外・司法試験予備試験)		合格
	卒業等年月日(例:2000/3/31)		
司法試験合格	新試験・旧試験の別	司法試験合格	
	合格年月日(例:2000/3/31)	2022/9/6	
職歴 *職歴がない場合は入力しないでください。 *職歴がある場合は、始期・終期のいずれも入力が必要です(現職の場合は、「現在」と入力してください)。 *アルバイト職は入力不要です。	始期(例:2000/3/31)	2018/4/1 ~ 終期(例:2000/3/31、現在)	2019/3/31
	始期(例:2000/3/31)	◆◆裁判所書記官	
	始期(例:2000/3/31)	~ 終期(例:2000/3/31、現在)	
	始期(例:2000/3/31)	~ 終期(例:2000/3/31、現在)	
	始期(例:2000/3/31)	~ 終期(例:2000/3/31、現在)	
賞罰 賞罰の有無 ※入力忘れ注意 賞罰等の内容	賞: なし	罰: なし	

既に登録のある会員と事務所を共にする場合は、
事務所名称・住所表記を統一してください。
電話・FAXは任意ですが、同事務所の会員の電話・FAXの登録
状況も確認してください。
登録されている住所は、こちらからご確認ください。

「卒業」・「修了」・「合格」以外は、プルダウンから
選択してください。
(参考) 大学院=「卒業」又は「中退」
大学院=「修了」又は「中退」
司法試験予備試験=「合格」

※参考※

【司法試験予備試験合格日】

令和3年度	2021/11/5
令和2年度	2021/2/8
平成31年度・令和元年度	2019/11/7
平成30年度	2018/11/8
平成29年度	2017/11/9
平成28年度	2016/11/4
平成27年度	2015/11/5
平成26年度	2014/11/6
平成25年度	2013/11/7
平成24年度	2012/11/8

【司法試験合格日】

令和4年度	2022/9/6
令和3年度	2021/9/7
令和2年度	2021/1/20
平成31年度・令和元年度	2019/9/10
平成30年度	2018/9/11
平成29年度	2017/9/12
平成28年度	2016/9/6
平成27年度	2015/9/8
平成26年度	2014/9/9
平成25年度	2013/9/10

印刷の都合で書類が2枚に分かれてしまう場合
①余白を変更して1枚に収まるようにしてください(ファイルに
保護がかかっている場合でも余白は変更できます。)
②2枚に分かれてしまう場合は、必ず同一の印鑑(弁護士
名簿登録請求書等を使用した印鑑)で契印を押してください。
(契印の押し方については、弁護士名簿登録請求書
等記入要領をご確認ください。)

【希望者】身分証明書発行申請書
★身分証明書を発行する方で、【職務上の氏名】の使用を届出(又は許可申請)する方は以下も入力してください。

①届出(又は許可申請)する職務上の氏名
※「職務上の氏名の届出書・使用許可申請書」と
完全に一致(外字・正字含む)させてください。

職務上の氏名	山田	職務上の名	太郎
--------	----	-------	----

②身分証明書に、氏名(戸籍上の氏名)と職務上の氏名を併記しますか?
例 職務上の氏名=日弁太郎、戸籍上の氏名=法律太郎の場合
希望する

併記を希望すると、身分証明書には
「日弁太郎(登録名:法律太郎)」と記載されます。

「職務上の氏名の届出書・使用許可申請書」は別のファイルになります。届出(又は許可申請)する場合は必ず提出してください。
身分証明書発行申請書に職務上の氏名の記載があっても、「職務上の氏名の届出書・使用許可申請書」の提出がなければ、身分証明書に職務上の氏名の記載はできません。

※このシートは入力用です。このシートに入力した内容が、各シートに反映されます。※
↓下にスクロールしてください!↓

ここでシートを切り替え

①「弁護士名簿登録請求書」
②「履歴書」
③「誓約書」
④(希望者)身分証明書発行申請書

各シートをA4用紙にプリントアウトし、
押印(金書類、印鑑を統一のこと)しうえ、
入会を希望する弁護士会へ提出してください。

入力にあたっては、別紙「**弁護士名簿登録請求書等記入要領**」をよく読み、漏りのないように入力してください。
各書類に押す印鑑は統一してください。
書類に不備があり、期限までに補正が完了しない場合、希望の日付で登録できないことがあります。

【よくあるお問い合わせ】

- 印刷すると1枚に収まらない。
→ページレイアウトから余白や改ページを調整し、1枚に収まるようにしてください。
→どうしても2枚に分かれてしまう場合は、弁護士名簿登録請求書等を使用した印鑑と同一の印鑑で契を押してください。契印の押し方は、弁護士名簿登録請求書等記入要領を参照してください。
- 印刷後に誤記を見つけたので、修正したい。

【よくある補正・確認事項】例年多い補正です。今一度、御自身が該当していないか確認してください。

- ・印鑑がスタンプ式(シャチハタ等)、シールタイプのものである。
- ・履歴書の学歴に誤字脱字がある。
例「法学学部卒業」(“学”重複)、「法学部」(“卒業”抜け)。
「●●大学大学院法務研究科修了」(正式名称で書いた場合の“〇〇専攻”抜け)。
「●●大学大学院法務研究科」(“修了”抜け)
- ・氏名に外字があり、身分証明書の発行を希望しているが、正字・外字の発行希望が不明(特に希望がない場合は正字で発行します。)
- ・同事務所の他会員の多数が電話・FAXを登録しているが、登録請求書に記入がない、又は異なる番号を記入している(電話・FAXの登録は任意ですが、上記の場合は、登録する・しないの意向確認を行うことがあります。)

別シートの「提出前チェック」も行ってください!

6万円
印紙貼付

日弁連提出用には、6万円分の印紙を貼付してください。
・他紙からの切り貼り不可
・消印はしないでください。

名簿登録

「日弁連提出用」と「弁護士会控え」を提出してください。「本人控」はお手元に保管してください。「日弁連提出用」も、必要に応じてコピーをとってください。

令和5年12月14日

日本弁護士連合会会長 殿

・シャチハタ不可。
・必ず全ての書類で同じ印鑑を使用し、訂正印にも同じ印鑑を使用してください。

日弁連 印

戸籍又は外国人住民に係る住民票とおりに氏名を記入してください。
・漢字に御注意ください。(例)西と面は異なる文字です。
・旧字体等、パソコンで入力できない漢字の場合は、空欄のままプリントアウトし、手書きで記入してください。
・登録までに改姓を予定されている方は、提出時は現在の姓を記入してください(詳細は、記入要領を確認してください。)

請求者

日本弁護士法第9条及び日本弁護士連合会に請求します。

ふりがな	にちべん れん		性別
氏名	日 弁 連	昭和64年1月1日生	男
本籍 (外国籍の者は国籍を記入)	東京都千代田区霞が関一丁目1番3号		
弁護士であったことの有無 (登録取消し時の登録番号)	本欄は記入しないでください 無		
電話番号・FAX番号の誤記多発。入力前、入力後によく確認してください。 ※携帯電話・PHSは不可。空欄でも可。	(〒 100 - 0013) 東京都千代田区霞が関1-1-3 (マンション・ビル名) 弁護士会館15階 (事務所名) 日弁法律事務所 電話 03 (3580) 9841 FAX 03 (3580) 2866		
	(〒 100 - 0013) 東京都千代田区霞が関1-1-3 (マンション・ビル名) 弁護士会館16階 電話 03 (3580) 9812 FAX 03 (3580) 9841		
住所			
入会希望 弁護士会	東京 弁護士会		

事務所住所・事務所名称を記入してください。
他の弁護士と事務所を共にする場合は、事務所名称・ビル名等表記を統一してください。
(他弁護士の事務所表記は <https://www.bengoshikai.jp/> からご確認いただけます。)
丁目、番地、号は省略して「-」で繋いでください。

訂正する場合は、訂正箇所にも二重線を引いて、訂正印(「請求者」欄の氏名の横に押した印鑑と同一のもの)を押し、正しい事項を記載してください!
※修正液・修正テープは使用しないでください。

- 1 履歴
- 2 戸籍及び生
- 3 弁護士
- 4 弁護士
- 5 弁護士
- 6 弁護士であった者については、登録取消し前の弁護士名簿に登録されていた者と同一人であることを証する書類

氏名、本籍

職務上の氏名を使用しようとする者は、職務上の氏名の届出書・使用許可申請書(第6号書式)を併せて提出する。

弁護士名簿登録請求書

令和 5 年 12 月 14 日

日本弁護士連合会会長 殿

請求者

日弁連

印

私は、弁護士名簿に登録されたく、弁護士法第9条及び日本弁護士連合会
会則第19条の規定により必要書類を添付して請求します。

ふりがな	にちべん れん		性別
氏名	日弁 連	昭和64年1月1日生	男
本籍 (外国籍の者は 国籍を記入)	東京都千代田区霞が関一丁目1番3号		
弁護士であったことの有無 (登録取消し時の登録番号)	(有)		無
事務所	(〒 100 - 0013) 東京都千代田区霞が関1-1-3 (マンション・ビル名) 弁護士会館15階		
	(事務所名) 日弁法律事務所		
	電 話	03 (3580) 9841	F A X 03 (3580) 2866
住 所	(〒 100 - 0013) 東京都千代田区霞が関1-1-3 (マンション・ビル名) 弁護士会館16階		
	電 話	03 (3580) 9812	F A X 03 (3580) 9841
	入会希望 弁護士会	東京 弁護士会	

添 付 書 類

- 履歴書及び写真（無帽・無背景 4cm×3cm）
- 戸籍謄本（外国籍の者については、外国人住民に係る住民票の写し）、戸籍抄本又は氏名、本籍及び生年月日の記載を証明する戸籍記載事項証明書のうちいずれか1通
- 弁護士となる資格を証明する書面（司法修習終了後引き続き登録する者を除く。）
- 弁護士法第7条各号のいずれにも該当しない旨の証明書
- 弁護士法第12条第1項各号及び第2項に掲げる事項に関する書面
- 弁護士であった者については、登録取消し前の弁護士名簿に登録されていた者と同一人であることを証する書類

職務上の氏名を使用しようとする者は、職務上の氏名の届出書・使用許可申請書（第6号書式）を併せて提出する。

弁護士名簿登録請求書

令和5年12月14日

日本弁護士連合会会長 殿

請求者

日弁連

印

私は、弁護士名簿に登録されたく、弁護士法第9条及び日本弁護士連合会
会則第19条の規定により必要書類を添付して請求します。

ふりがな	にちべん れん		性別
氏名	日弁 連	昭和64年1月1日生	男
本籍 (外国籍の者は 国籍を記入)	東京都千代田区霞が関一丁目1番3号		
弁護士であったことの有無 (登録取消し時の登録番号)	(有)		無
事務所	(〒100 - 0013) 東京都千代田区霞が関1-1-3 (マンション・ビル名) 弁護士会館15階		
	(事務所名) 日弁法律事務所		
	電話	03 (3580) 9841	FAX 03 (3580) 2866
住所	(〒100 - 0013) 東京都千代田区霞が関1-1-3 (マンション・ビル名) 弁護士会館16階		
	電話	03 (3580) 9812	FAX 03 (3580) 9841
入会希望 弁護士会	東京 弁護士会		

添付書類

- 履歴書及び写真（無帽・無背景 4cm×3cm）
- 戸籍謄本（外国籍の者については、外国人住民に係る住民票の写し）、戸籍抄本又は氏名、本籍及び生年月日の記載を証明する戸籍記載事項証明書のうちいずれか1通
- 弁護士となる資格を証明する書面（司法修習終了後引き続き登録する者を除く。）
- 弁護士法第7条各号のいずれにも該当しない旨の証明書
- 弁護士法第12条第1項各号及び第2項に掲げる事項に関する書面
- 弁護士であった者については、登録取消し前の弁護士名簿に登録されていた者と同一人であることを証する書類

職務上の氏名を使用しようとする者は、職務上の氏名の届出書・使用許可申請書（第6号書式）を併せて提出する。

本籍・氏名・生年月日・自宅住所を
登録請求書と同様に記入してください。

履 歴 書

「日弁連提出用」と
「弁護士会控え」を提出してください。
「本人控」はお手元に保管してください。

本 籍	東京都千代田区霞が関一丁目1番3号
氏 名	日 弁 連
生年月日	昭和64年（西暦 1989 年） 1月1日
住所(自宅)	東京都千代田区霞が関1-1-3 弁護士会館16階

注意事項を参照の上、鮮明な写真を貼付してください。

帽 サンングラス不可
プリンタ印刷不可
4cm×3cm 白黒・カラーいづれでも可

履 歴

学 歴	平成21年3月31日 (西暦 2009)	〇〇大学法学部法学科卒業
	平成25年3月31日 (西暦 2013)	△△大学法科大学院修了

大学以降の学歴を記入してください。「卒業」・「修了」・「中退」等を明記してください。
データの入力ミスにより、文言が重複してしまうといった誤記が多発していますので、入力後に必ず確認してください。

「司法試験」の合格年月日を記入してください。
(旧試験の場合は、「司法試験第二次試験」の合格年月日)

データ入力シートからでは学校名が正しく入力できない場合(首都大学東京法科大学院など)は、プリントアウト後、直接手書きしてください。訂正する部分がある場合には、二重線及び訂正印で訂正してください。

弁 護 士 資 格	令和4年9月6日 (西暦 2022)	司法試験合格
	令和5年12月13日 (西暦 2023)	司法修習終了 (終了証書の交付日)

職 歴	平成30年4月1日 (西暦 2018)	◆◆裁判所書記官 (至平成31年3月31日)
	(西暦)	
	(西暦)	
	(西暦)	

職歴がある場合は記入してください。
入職年月日及び退職年月日を明記してください。
※退職年月日の記入漏れに注意してください。
職歴がない場合は、「なし」と明記してください(データ入力シートで入力しない場合は、自動的に「なし」と表示されます)。

賞 罰	賞： なし 罰： なし
-----	-------------

賞罰がある場合は記入してください。
ない場合は、「なし」と明記してください。(データ入力シートで入力しない場合は、自動的に「なし」と表示されます。)
罰を記入される場合は、日付・内容・罰の内容を入力してください。
「賞」を記入される場合にも、「罰」の有無も必ず明記してください。

登録請求書と同じ印鑑で押印してください。
訂正印を押す場合にも、必ず同じ印鑑を使用してください。

とおり相違ありません

令和 5 年 12 月 14 日

氏 名

日 弁 連



履 歴 書

本籍	東京都千代田区霞が関一丁目1番3号	写真 4cm×3cm
氏名	日弁連	
生年月日	昭和64年（西暦 1989 年） 1月1日	
住所(自宅)	東京都千代田区霞が関1-1-3 弁護士会館16階	
履 歴		
学歴	平成21年3月31日 (西暦 2009)	〇〇大学法学部法学科卒業
	平成25年3月31日 (西暦 2013)	△△大学法科大学院修了
	(西暦)	合格
弁護士 とな る 資 格	令和4年9月6日 (西暦 2022)	司法試験合格
	令和5年12月14日 (西暦 2023)	司法修習終了（終了証書の交付日）
職歴	平成30年4月1日 (西暦 2018)	◆◆裁判所書記官 (至平成31年3月31日)
	(西暦)	
	(西暦)	
	(西暦)	
賞罰	賞：なし 罰：なし	

以上のとおり相違ありません

令和 5 年 12 月 14 日

氏名

日弁連

印

本人控

履 歴 書

本 籍	東京都千代田区霞が関一丁目1番3号	写真 4cm×3cm
氏 名	日 弁 連	
生年月日	昭和64年（西暦 1989 年） 1月1日	
住所(自宅)	東京都千代田区霞が関1-1-3 弁護士会館16階	
履 歴		
学 歴	平成21年3月31日 (西暦 2009)	〇〇大学法学部法学科卒業
	平成25年3月31日 (西暦 2013)	△△大学法科大学院修了
	(西暦)	合格
弁 護 士 と 資 格	令和4年9月6日 (西暦 2022)	司法試験合格
	令和5年12月13日 (西暦 2023)	司法修習終了（終了証書の交付日）
職 歴	平成30年4月1日 (西暦 2018)	◆◆裁判所書記官 (至平成31年3月31日)
	(西暦)	
	(西暦)	
	(西暦)	
賞 罰	賞： なし 罰： なし	

以上のとおり相違ありません

令和 5 年 12 月 14 日

氏 名 日 弁 連 印

(登録用) 日弁連提出用

本籍・自宅住所を登録請求書と同様に記入してください。

「日弁連提出用」と
「弁護士会控え」を提出
してください。
「本人控」はお手元に
保管してください。

本 籍 東京都千代田区霞が関一丁目1番3号

住 所 東京都千代田区霞が関1-1-2
弁護士会館16階

氏名・生年月日を登録請求書と同様に記入してください。

氏 名 日 弁 連

昭 和 64 年 1 月 1 日 生

私は、

- 1 弁護士法第7条各号のいずれにも該当しないこと
 - 2 弁護士法第12条第1項各号及び第2項に掲げる事項に該当しないこと
- を誓約いたします。

令和 5 年 12 月 14 日

登録請求書と同じ印鑑で押印してください。
訂正印を押す場合にも、必ず同じ印鑑を
使用してください。

本 人

日 弁 連

印

(登録用) 弁護士会控

本籍 東京都千代田区霞が関一丁目1番3号

住所 東京都千代田区霞が関1-1-3
弁護士会館16階

氏名 日弁連

昭和64年1月1日生

私は、

- 1 弁護士法第7条各号のいずれにも該当しないこと
- 2 弁護士法第12条第1項各号及び第2項に掲げる事項に該当しないことを誓約いたします。

令和5年12月14日

本人

日弁連

印

(登録用) 本人控

本籍 東京都千代田区霞が関一丁目1番3号

住所 東京都千代田区霞が関1-1-3
弁護士会館16階

氏名 日弁連

昭和64年1月1日生

私は、

- 1 弁護士法第7条各号のいずれにも該当しないこと
- 2 弁護士法第12条第1項各号及び第2項に掲げる事項に該当しないことを誓約いたします。

令和5年12月14日

本人

日弁連

印

(別紙)

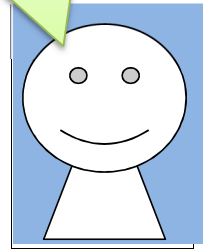
記

- 1 身分証明書を第三者に貸与又は譲渡をしないこと。
- 2 有効期間内に新たな身分証明書の発行を申請する場合には、弁護士等の身分証明書の発行に関する規則第10条に基づき、既に発行を受けた身分証明書を所属弁護士会を経由して返還すること。
また、新たな身分証明書の交付を受ける場合には、引き換えに既に発行を受けた身分証明書を返還すること。
- 3 次の場合には弁護士等の身分証明書の発行に関する規則第13条に基づき、身分証明書を所属弁護士会又は最後に所属した弁護士会を経由して返還すること。また、身分証明書の名義人が死亡した場合には、当該名義人の相続人が返還すること。
 - ① 禁錮以上の刑に処せられたとき
 - ② 除名、退会命令又は業務停止の懲戒処分を受けたとき
 - ③ 懲戒の処分により、弁理士であって業務を禁止され、公認会計士であって登録を抹消され、税理士であって業務を禁止され、若しくは公務員であって免職され、又は税理士であった者であって税理士業務の禁止の懲戒処分を受けるべきであったことについて決定を受けたとき
 - ④ 破産手続開始の決定を受けたとき
 - ⑤ 弁護士にあつては弁護士法（昭和二十四年法律第二百五号）第十一条、外国法事務弁護士にあつては外国弁護士による法律事務の取扱い等に関する法律（昭和六十一年法律第六十六号。以下「外国弁護士法律事務取扱法」という。）第三十条、沖縄弁護士にあつては沖縄弁護士に関する政令（昭和四十七年政令第百六十九号）第三条第一項の規定により、登録取消又は登載取消の請求をしたとき
 - ⑥ 弁護士にあつては弁護士法第十三条の規定による登録取消が確定したとき
 - ⑦ 外国法事務弁護士にあつては外国弁護士法律事務取扱法第三十一条第一項第四号に該当したとき又は同条第二項により登録を取り消されたとき
 - ⑧ 死亡したとき
 - ⑨ 身分証明書の有効期間が満了したとき又は記載事項に変更が生じたとき
- 4 身分証明書の返還をすべき場合で、その返還ができないときは、その事情を書面をもって、所属弁護士会を経由して届け出ること。
- 5 身分証明書を紛失した場合には、書面をもって速やかに、所属弁護士会を経由して「紛失届」を提出すること。
- 6 「紛失届」をなした身分証明書が発見された場合、直ちに所属弁護士会を経由して、その旨を書面をもって届け出ること。なお、身分証明書の紛失後に、新たな身分証明書の発行を申請し、又は発行を受けている場合には、発見された身分証明書を所属弁護士会を経由して返還すること。
- 7 以上のほか、身分証明書の取扱いに当たっては、日本弁護士連合会の弁護士等の身分証明書の発行に関する規則を順守すること。

(日弁連提出用)

身分証明書発行

- ・写真はタテ4cm×ヨコ3cmです。
- ・もう一葉は裏面に氏名を明記し、小袋に入れて提出してください。
- ・顔が鮮明に写っているものにしてください。



新規発行	
更新発行	全員「新規発行」です
紛失再発行	
事項変更再発行	
職務上の氏名使用の有無	有

【対象者】職務上の氏名の使用がある場合、「有」になります。

令和5年12月14日

日本弁護士連合会事務総長 殿

氏名

日弁連

印

↑ 職務上の氏名を使用している場合は職務上の氏名を記載してください。

私は、日本弁護士連合会の弁護士等の身分証明書の発行を受けたいので申請します。
 なお、身分証明書の交付を受けた後は、別紙の記載事項を順守することを言明します。

登録請求書と同じ印鑑で押印してください。
 訂正印を押す場合にも、必ず同じ印鑑を使用してください。

身

氏名に外字のある方へ
 ※通常、外字は正字に変換されます。正字変換を希望しない場合は、その旨を付箋や欄外に記入する等して連絡してください。
 何も記載がない場合は、正字に変換して発行いたします。

登録年月日	昭和64年1月1日	和暦で記載
氏名	氏 日弁 名 連	
職務上の氏名	氏 山田 名 太郎	
氏名の併記	希望する	【対象者】職務上の氏名と氏名を併記するか希望を明記していますか？
事務所所在地	東京都千代田区霞が関1-1-3 弁護士会館15階	
事務所名称	日弁法律事務所	

<添付書類>写真2葉 (たて4cm×よこ3cm、1葉はこの申請書の写真貼付欄に貼付してください。)

- 注 1 写真は、申請前3か月以内に撮影した上半身、無背景、無帽で、ツヤありであること。
 2 写真の裏面には、氏名、登録・登載番号、撮影年月日を記入すること。

身分証明書発行申請書

新規発行	○
更新発行	
紛失再発行	
事項変更再発行	
職務上の氏名使用の有無	有

令和5年12月14日

日本弁護士連合会事務総長 殿

氏名 日弁連 印

↑ 職務上の氏名を使用している場合は
職務上の氏名を記載してください。

私は、日本弁護士連合会の弁護士等の身分証明書の発行に関する規則に基づき、身分証明書の発行を受けたいので申請します。

なお、身分証明書の交付を受けた後には、別紙の記載事項を順守することを誓約します。

身分証明書記載事項 (※弁護士名簿記載の内容)

所属弁護士会	東京	弁護士会
登録/登載番号	記入不要	生年月日 昭和64年1月1日
氏名	氏 日弁	名 連
職務上の氏名	氏 山田	名 太郎
(職務上の氏名を使用している会員) 氏名の併記	希望する	
事務所所在地	東京都千代田区霞が関1-1-3	
	弁護士会館15階	
事務所名称	日弁法律事務所	

<添付書類>写真2葉 (たて4cm×よこ3cm、1葉はこの申請書の写真貼付欄に貼付してください。)

注 1 写真は、申請前3か月以内に撮影した上半身、無背景、無帽で、ツヤありであること。

2 写真の裏面には、氏名、登録・登載番号、撮影年月日を記入すること。

(本人控)

身分証明書発行申請書

新規発行	○
更新発行	
紛失再発行	
事項変更再発行	
職務上の氏名使用の有無	有

令和5年12月14日

日本弁護士連合会事務総長 殿

氏名 日弁連 印

↑ 職務上の氏名を使用している場合は
職務上の氏名を記載してください。

私は、日本弁護士連合会の弁護士等の身分証明書の発行に関する規則に基づき、身分証明書の発行を受けたいので申請します。

なお、身分証明書の交付を受けた後には、別紙の記載事項を順守することを誓約します。

身分証明書記載事項 (※弁護士名簿記載の内容)

所属弁護士会	東京	弁護士会
登録/登載番号	記入不要	生年月日 昭和64年1月1日
氏名	氏 日弁	名 連
職務上の氏名	氏 山田	名 太郎
(職務上の氏名を使用している会員) 氏名の併記	希望する	
事務所所在地	東京都千代田区霞が関1-1-3	
	弁護士会館15階	
事務所名称	日弁法律事務所	

<添付書類>写真2葉 (たて4cm×よこ3cm、1葉はこの申請書の写真貼付欄に貼付してください。)

注 1 写真は、申請前3か月以内に撮影した上半身、無背景、無帽で、ツヤありであること。

2 写真の裏面には、氏名、登録・登載番号、撮影年月日を記入すること。

主要法科大学院一覧(参考資料:文部科学省ホームページ「法科大学院一覧」)

履歴書に法科大学院名を記載する場合には、以下に記載の略称又は正式名称を記入してください(修了当時の略称又は名称を記入してください)。

※備考欄に「○」が付いている法科大学院は令和5年現在、募集が行われておりません。

50音	略称	正式名称	備考
あ	愛知大学法科大学院	愛知大学大学院法務研究科法務専攻	
あ	愛知学院大学法科大学院	愛知学院大学大学院法務研究科法務専攻	○
あ	青山学院大学法科大学院	青山学院大学大学院法務研究科法務専攻	○
お	大阪学院大学法科大学院	大阪学院大学大学院法務研究科法務専攻	○
お	大阪大学法科大学院	大阪大学大学院高等司法研究科法務専攻	
お	大阪市立大学法科大学院 ※令和4年4月以降、大阪公立大学法科大学院	大阪市立大学大学院法学研究科法曹養成専攻 ※令和4年4月以降、大阪公立大学大学院法学研究科法曹養成専攻	
お	大宮法科大学院	大宮法科大学院大学法務研究科法務専攻	○
お	岡山大学法科大学院	岡山大学大学院法務研究科法務専攻	
か	学習院大学法科大学院	学習院大学大学院法務研究科法務専攻	
か	鹿児島大学法科大学院	鹿児島大学大学院司法政策研究科法曹実務専攻	○
か	関西大学法科大学院	関西大学大学院法務研究科法曹養成専攻	
か	関西学院大学法科大学院	関西学院大学大学院司法研究科法務専攻	
か	香川大学・愛媛大学法科大学院	香川大学・愛媛大学連合法務研究科法務専攻(通称:四国ロースクール)	○
か	神奈川大学法科大学院	神奈川大学大学院法務研究科法務専攻	○
か	金沢大学法科大学院	金沢大学大学院法務研究科法務専攻	
か	関東学院大学法科大学院	関東学院大学大学院法務研究科実務法学専攻	○
き	九州大学法科大学院	九州大学大学院法務学府実務法学専攻	
き	京都大学法科大学院	京都大学大学院法学研究科法曹養成専攻	
き	京都産業大学法科大学院	京都産業大学大学院法務研究科法務専攻	○
き	近畿大学法科大学院	近畿大学大学院法務研究科法務専攻	○
く	熊本大学法科大学院	熊本大学大学院法曹養成研究科法曹養成専攻	○
く	久留米大学法科大学院	久留米大学大学院法務研究科法務専攻	○
け	慶應義塾大学法科大学院	慶應義塾大学大学院法務研究科法曹養成専攻	
こ	神戸大学法科大学院	神戸大学大学院法学研究科実務法律専攻	
こ	神戸学院大学法科大学院	神戸学院大学大学院実務法学研究科実務法学専攻	○
こ	甲南大学法科大学院	甲南大学大学院法学研究科(法務専攻)	○
こ	國學院大學法科大学院	國學院大學大学院法務研究科法務職専攻	○
こ	駒澤大学法科大学院	駒澤大学大学院法曹養成研究科法曹養成専攻	○
し	静岡大学法科大学院	静岡大学大学院法務研究科法務専攻	○
し	島根大学法科大学院 (通称:山陰法科大学院)	島根大学大学院法務研究科法曹養成専攻	○
し	首都大学東京法科大学院	首都大学東京大学院社会科学研究科法曹養成専攻	○
し	上智大学法科大学院	上智大学大学院法学研究科法曹養成専攻	
し	信州大学法科大学院	信州大学大学院法曹法務研究科法曹法務専攻	○
す	駿河台大学法科大学院	駿河台大学大学院法務研究科法曹実務専攻	○
せ	成蹊大学法科大学院	成蹊大学大学院法務研究科法務専攻	○
せ	西南学院大学法科大学院	西南学院大学大学院法務研究科法曹養成専攻	○
せ	専修大学法科大学院	専修大学大学院法務研究科法務専攻	
そ	創価大学法科大学院	創価大学大学院法務研究科法務専攻	
た	大東文化大学法科大学院	大東文化大学大学院法務研究科法務専攻	○
ち	千葉大学法科大学院	千葉大学大学院専門法務研究科法務専攻	
ち	中央大学法科大学院	中央大学大学院法務研究科法務専攻	
ち	中京大学法科大学院	中京大学大学院法務研究科法務専攻	○
つ	筑波大学法科大学院	筑波大学ビジネス科学研究科法曹専攻(令和元年度以前入学生) 筑波大学人文社会ビジネス科学学術院法曹専攻(令和2年度以降入学)	
と	桐蔭法科大学院	桐蔭法科大学院	○
と	桐蔭横浜大学法科大学院	桐蔭横浜大学大学院法務研究科法務専攻	○
と	東海大学法科大学院	東海大学大学院実務法学研究科実務法律学専攻	○
と	東京大学法科大学院	東京大学大学院法学政治学研究科法曹養成専攻	
と	東京都立大学法科大学院	東京都立大学大学院法学政治学研究科法曹養成専攻	
と	同志社大学法科大学院	同志社大学大学院司法研究科法務専攻	
と	東北大学法科大学院	東北大学大学院法学研究科総合法制専攻	
と	東北学院大学法科大学院	東北学院大学大学院法務研究科法曹実務専攻	○
と	東洋大学法科大学院	東洋大学大学院法務研究科法務専攻	○
と	獨協大学法科大学院	獨協大学大学院法務研究科法曹実務専攻	○
な	名古屋大学法科大学院	名古屋大学大学院法学研究科実務法曹養成専攻	
な	南山大学法科大学院	南山大学大学院法務研究科法務専攻	
に	新潟大学法科大学院	新潟大学大学院実務法学研究科実務法学専攻	○
に	日本大学法科大学院	日本大学大学院法務研究科法務専攻	
は	白鷗大学法科大学院	白鷗大学大学院法務研究科法務専攻	○
ひ	一橋大学法科大学院	一橋大学大学院法学研究科法務専攻	
ひ	姫路獨協大学法科大学院	姫路獨協大学大学院法務研究科法務専攻	○

主要法科大学院一覧(参考資料:文部科学省ホームページ「法科大学院一覧」)

履歴書に法科大学院名を記載する場合には、以下に記載の略称又は正式名称を記入してください(修了当時の略称又は名称を記入してください)。

※備考欄に「○」が付いている法科大学院は令和5年現在、募集が行われておりません。

50音	略称	正式名称	備考
ひ	広島大学法科大学院	広島大学大学院法務研究科法務専攻	
ひ	広島修道大学法科大学院	広島修道大学大学院法務研究科法務専攻	○
ふ	福岡大学法科大学院	福岡大学大学院法曹実務研究科法務専攻	
ほ	法政大学法科大学院	法政大学大学院法務研究科法務専攻	
ほ	北海学園大学法科大学院	北海学園大学大学院法務研究科法務専攻	○
ほ	北海道大学法科大学院	北海道大学大学院法学研究科・法律実務専攻	
め	明治大学法科大学院	明治大学大学院法務研究科法務専攻	
め	明治学院大学法科大学院	明治学院大学大学院法務職研究科法務専攻	○
め	名城大学法科大学院	名城大学大学院法務研究科法務専攻	○
や	山梨学院大学法科大学院	山梨学院大学大学院法務研究科法務専攻	○
よ	横浜国立大学法科大学院	横浜国立大学大学院 国際社会科学研究科法曹実務専攻	○
り	立教大学法科大学院	立教大学大学院法務研究科法務専攻	○
り	立命館大学法科大学院	立命館大学大学院法務研究科法曹養成専攻	
り	龍谷大学法科大学院	龍谷大学大学院法務研究科法務専攻	○
り	琉球大学法科大学院	琉球大学大学院法務研究科法務専攻	
わ	早稲田大学法科大学院	早稲田大学大学院法務研究科法務専攻	